

## クリプトン・フューチャー・メディア

### Sound the future ～ 北海道から世界へ。音の商社が生み出す創作の輪

[クリプトン・フューチャー・メディア株式会社](#)は、効果音などサウンド素材を輸入販売する「音の商社」として創業しました。得意分野の「音」を探究しながらデジタルコンテンツに関わる事業を展開するなか、2007年に歌声合成ソフトウェア『初音ミク』を企画開発。そのブランド名の由来は、「未来からきた初めての音」です。『初音ミク』がキャラクターとしても人気を博したことから、キャラクターライセンス事業も手掛けるようになりました。今やさまざまなステージで活躍する『初音ミク』は、多くのクリエイターの創作の源となっています。2014年に始まった『初音ミク』の世界ツアーシリーズ「MIKU EXPO」では、これまで国内外30か国68都市で公演を実施。その人気は世界に広がっており、知的財産の保護もグローバルに行っています。

当社が掲げるミッションは、クリエイターが物事を「ツクル」ための技術やサービス、つくった物事を発表する場を「創る」こと。北海道札幌市から国内外に向けて、3,000万件以上のサウンドコンテンツのライセンス販売をはじめ、音声技術開発、音楽配信プラットフォームの開発・運営、キャラクターライセンス事業、ライブ・イベント制作事業、地域を応援するローカルプロジェクトの企画・運営など、多岐にわたるサービス構築・技術開発に取り組んでいます。また、クリエイター向けの製品やサービスを創るだけでなく、優れたクリエイター作品の発見・育成にも努めています。企業として目指すゴールは、社員・会社・社会の「Happiness」を達成することです。



Art by KEI, iXima © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

Art by KEI, iXima © Crypton Future Media INC. www.piapro.net

## 海外商標の取得方針（戦略）とマドリッド制度のメリット

『初音ミク』が国内外のユーザーに広く知られ、多くのクリエイターの創作に利用していただけるようになったことは好ましいことですが、同時にその技術やキャラクターに関わる著作権、商標権など、知的財産の保護も一層重要な課題となりました。当社はキャラクターのビジネスを積極的に展開していますので、ソフトウェアや Web・Mobile コンテンツの権利保護だけでは不十分です。2010 年に『初音ミク』のロゴマークが海外で第三者に出願されているのを発見し、それに対処すると同時に海外における防衛出願を検討した際、当社の代理人からマドリッド制度の活用を勧められたことがきっかけで利用し始めました。マドリッド制度では、一つの国際登録出願で複数の加盟国への出願を極めて簡単に行え、一度国際登録してしまえば存続期間等の管理は一括して行えるという点でメリットを感じています。とりわけ、インターネットサービスでは商品・役務が容易に国境を越えるため、同時に多数の国・地域でのブランドを保護する必要があり、当社のような中小規模の会社にとって、人的コスト・費用対効果の点からも、マドリッド制度はその大きな助けになっています。

### マドリッド制度の利用例

国際登録番号： 1062419



国際登録番号： 1251590

HATSUNE MIKU



『初音ミク』は歌声合成ソフトウェアのパッケージとしてデザインされたキャラクターですが、その日本語、中国語およびアルファベットでの名称は、ソフトウェア関係の商品にとどまらず、楽器、衣服、フィギュア、エンターテインメントの分野などで広く保護しています。当社の商品展開の伸長を図る国や地域を踏まえて、中国や米国、EUなどを指定しており、今後の指定国の追加については当社のビジネスの展開と、当地における第三者による出願などを考慮して行うことになると考えています。マドリッド制度を利用し、いったん国際登録をしまえば、海賊版の排除や第三者による勝手な出願の抑止など大きな効果を生み出します。ただし、国によって制度や審査基準が異なるため、指定国が増えるほど、それらの差異に対応する労力が増えます。これについては、日本国内と現地の双方に信頼できる代理人を見つけることが肝要です。また、指定国にもよりますが、商標を使用する商品・役務を指定する際には、可能な限りニース協定に基づく国際分類表に掲載されているものを選択すると良いと思います。国によっては国際分類表に掲載されていない商品・役務の表示を認めないこともあるため、マドリッド制度のメリットを生かすためには、出願の段階で各国での登録に支障のないような指定を行うことが重要です。拒絶理由通知を受けてしまうと、現地代理人による対応の必要性が生じてしまうことが多く、メリットを十分に生かせなくなります。



© Crypton Future Media INC.

## 新たなビジネス環境への挑戦と知的財産の保護

昨今、NFT やメタバースなど、インターネット上のビジネス環境は次々に新しいものが出てきています。当社としては、そうした潮流を見極めて、どのように新しい可能性にチャレンジすればさらにキャラクターの魅力を伝えられるかに挑戦し、その展開を保護できるような商標出願を行っていきたいと考えています。



© Crypton Future Media INC. [www.piapro.net/](http://www.piapro.net/) © SEGA  
Graphics by SEGA / NARZA ANIMATION PLANET INC.  
Production by Crypton Future Media INC.



© Crypton Future Media INC.